

立大学教授会関西連絡協議会（関西教授会連合）および国庫助成に関する全国私立大学教授連合（全国教授会連合）の有力なリーダーとして活躍されました。しかも、1970年頃からは関西学院大学社会学部学院選出の国庫助成委員として、故余田博通名誉教授（社会学部）、村西義一名誉教授（法学部）、田辺純夫名誉教授（文学部）、長岡豊経済学部教授らとともに関西学院大学の国庫助成運動を長い間、担ってこられました。

張 光夫先生は1992年、関西学院大学が関西教授会連合の常任幹事校となった時には関西教授会連合の代表に就任され、座談会や会報の編集長、そしてコーディネーターおよび司会を担当し、関西教授会連合の会報に「海外大学事情・イギリスの高等教育の変化」や「新刊紹介・大学改革と私立大学」等を執筆されました。また、1993年、全国教授会連合の代表に就任されてからは全国教授会連合幹事校の議長を職務上務められ、1965年には関西教授会連合の30周年記念行事委員会委員に就任、1996年に『関西協議会30年のあゆみ』に執筆されました。さらに、全国教授会連合が行う文部省および各政党への要請行動にはほぼ毎年参加され活躍されておられました。

われわれの研究や教育条件が一步一步整備されてきている背後には、こうした張光夫先生を始めとする多くの先生方の努力や活躍があったのだということを考えますと、組織の先頭に立ってこられた張光夫先生の活躍に敬意を払うものであります。

張 光夫先生、どうぞこれからも御健康に留意され、御活躍をお祈り致します。